

令和元年度 第5回せたがや生涯現役ネットワーク世話人会議事要旨

日 時：令和元年11月1日（金） 午後5時～午後7時

出席者：世話人 兜山、片岡、藤田、石川、臼井、秋山、山根、鬼塚
市民活動・生涯現役推進課 藤木、桑原

欠席者：生方、志水

場 所：ひだまり友遊会館 第1会議室

1 〈協議事項〉

(1) 生涯現役ネットワーク活動の進捗確認

《令和元年度 臨時総会の反省について》

9月27日に開催された令和元年度臨時総会において指摘された議案書の内容について確認が行われた。

〈指摘された事項〉

○「第2号報告 せたがやシニア現役プロジェクト 3年間の総括について」

…[ご当地]家族会 志水氏より、「ラテン音楽と健康と仲間をつくろう」というプロジェクトの会計報告についてプロジェクト支援金3,000円が記載されていないとの指摘があった。

高取氏から修正が提出されたため、世話人で確認を行った。また、加盟団体には事務局よりこの質問への対する回答を行うことが確認された。

○「第3号議案 令和2年度補助金予算要望について」

コミュニティご縁小林氏より、「今年度から世話人代表が兜山氏に代わったが、兜山氏の特色はどこに表れているのか」という質問があった。

臨時総会では「IT事業を行わず、人材育成事業のみ行うことである」との回答がされた。また、交流事業を行ってはどうかという提案もあった。世話人会では今後とも検討を継続する。

また、ネットワーク団体同士の交流の具体的な事例として、臼井氏が所属する九品仏自治会フリーマーケットで砂場クラブが活動を行ったことが報告された。

「加盟団体の活動を広く紹介するのが世話人の役目なのではないか。」という意見が片岡氏より述べられたため、実績報告とイベントの写真をネットワークHPに掲載することとなった。

○「第5号議案 世話人からの報告（総会の開催時期について）」

鬼塚氏より令和2年度の総会の日時・場所についてはいつ決定するべきかという質問がなされた。事務局より「通常は1～2ヶ月前に会場を予約する。4～5月に世話人会を開き、日程の調整を行えば問題はない。」との回答がなされた。

また、世話人の任期についても次年度の総会までとすることが確認された。

〈懇親会について〉

臨時総会後の懇親会の会計報告が石川氏より説明された。

その後各世話人より懇親会に関する反省として以下の意見が出された。

- ・各団体にマイクを渡し、話をしてもらったのがよかった。（臼井）
- ・今回の懇親会は立食だったので、移動して色々な人と話せたのが良かった。（石川）
- ・来年から写真係がいたほうがよいのではないか。（山根）
- ・女性の参加者が少なかったと感じる。（鬼塚）

- ・また、次回より交流会で発生するゴミについては世話人で協力して持ち帰る等の処理をする。

〈その他〉

- ・世話人会の冒頭の30分間ほどで、加盟団体の意見を聞く機会を設けるのはどうかという提案が片岡氏より為された。今後、検討を行っていくこととする。

《シニア現役プロジェクトについて》

○人材グループの活動報告について

臼井氏より人材グループの活動について報告があった。

- ・地域活動体験講座は21名の申込があり、参加者は9月末～10月末に各団体に活動体験を行った。11月2日に活動体験の報告会、11月9日に最終の講座を行い、その中で社会福祉協議会の方にも講義をしていただく。今年度は後半の座学の参加者を増やすため、メールや電話でのリマインドも行った。
- ・今回の講座の反省をして次年度のあとおし講座に繋げていくことが目標である。また、まちあるきについては7月に終了済みで、OB会は積極的に活動をしている旨が事務局より報告された。

○ITグループの活動報告について

次に藤田氏よりITグループの活動について報告があった。

- ・町会・自治会のHP開設については4町会を対象としており、HP作成講座とiPad講座をそれぞれ開催している。
- ・「せたがや暮らし」のシステムは改善したい点があるが、開発を続けるには資金が必要である。これに対して、クラウドファンディングなどの民間資金を集めることも考える必要があるという意見や、これ以上助成金を使って進めるべきでないという意見があった。

(2) シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト準備会について

シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクトを4月から検討していくためには、年度内に体制を話し合う枠組みを整えておく必要があると鬼塚氏より提案された。

討議の結果、準備会を12月23日(月)に開催することとなった。参加者は世話人とネットワーク全体に呼びかけて集まった方とする。(活動について周知するためにも全団体に呼びかける。)

呼びかけ文の作成と準備会の会場予約は鬼塚氏が行うこととなった。呼びかけ文は作成後、事務局から全団体へ連絡を行う。

(3) 交流会について

第2回世話人会で討議中であった交流会について話し合いが進められた。

臨時総会後の交流会において、ネットワーク加盟団体の活動について知りたいという声が多かったため、加盟団体の活動を知る機会として交流会を企画する。

交流会は片岡氏が担当となり、ひだまり友遊会館で3月に1回開催することを目標とする。

また、内容等詳細については12月23日に検討を行う。

(4) その他

○アンケートについて

地域デビューの会とせたがや移動ケアが連携して行っている「せたがや生涯現役ネットワークを共生社会に活かすためのプロジェクト」で作成したアンケートについて説明がなされた。

このアンケートは参加団体向けのもので、生涯現役ネットワークについての考えと地域共生社会への興味関心を伺うことを目的としている。

世話人からの意見は以下の通りである。

- ・定期的にアンケートを行い、各団体が抱える問題について把握したら良いと思う。このアンケートを通して鬼塚氏は何を吸い上げてどう対応したいのか。(片岡)

→加盟団体の様子を確認したい。登録している団体は何を期待しているのかを知る必要があるのではないか。(鬼塚)

- ・記入式は意見が書きづらいので、選択式のほうがよい。アンケートの目的を明確にしたらどうか。(山根)

→ネットワークに参加した理由を伺う質問の回答欄を選択式とすることとなった。

上記の意見を踏まえて、鬼塚氏がメールで世話人の訂正意見を集約して、アンケートを修正し、事務局へ送付することとなった。加盟団体への送付は事務局がメールまたは郵送で対応する。また、アンケートの回収は事務局が行うが、内容の問い合わせは鬼塚氏とする。